

ご参加いただいた非会員の皆様へ

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

此の度は、第59回日本神経学会学術大会にご参加いただき、有難うございました。幸い連日好天にも恵まれ、お蔭さまで6,302名という多くの皆様にご参加いただきまして、無事終了することができました。これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

北海道大学神経内科は1987年に診療科として開設されて以来、今年で32年目を迎えました。このたび、第59回学術大会を担当させて頂きましたことは大変に名誉なことであり、教室と同門を代表して皆様にお礼を申し上げます。主幹校として学会事務局ならびに運営事務局から支援を得て、企画、立案、運営に至るまで円滑に作業を進めることができました。関係者の皆様からたくさんのご協力と御支援を頂いて、この学術大会を開催・運営することができました。改めてお礼を申し上げます。本学術大会のテーマである「神経疾患の克服を目指して」は日本神経学会設立の理念であり、神経疾患の治療法が格段に進歩しつつあること、そして国民の神経疾患医療を担う気概も込めて、このテーマを選びました。プレナリーレクチャー、特別講演、シンポジウム、East Asian Neurology Forum (EANF) 関連プログラム、様々な教育企画、メディカルスタッフを対象とした企画、初期研修医・医学生からの演題応募等、明日の神経疾患医療を担う人々に役立つ学術大会を目指して企画させて頂きました。

ここに第59回学術大会の全日程が無事終了しましたことを報告させて頂きます。また大会を大いに盛り上げていただきました皆様に重ねて心より御礼を申し上げます。この大会が日本神経学会と神経疾患医療の一層の発展に繋がることを祈念いたして、お礼の挨拶とさせて頂きます。

皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

謹白



平成30年6月1日

第59回日本神経学会学術大会 大会長
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学 特任教授
佐々木 秀直

【大会長校事務局】

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学

【学会事務局】

日本神経学会事務局

【運営事務局】

第 59 回日本神経学会学術大会運営事務局

(株式会社コンベンションリンクージ)